

第2回滝川市立地適正化計画策定委員会の開催結果について（要旨）

会議次第

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議事
 - (1) コンパクトシティを目指す必要性について
 - (2) 市民アンケート調査結果について報告
 - (3) まちづくり方針・誘導方針、将来都市構造（案）について意見交換
4. その他
5. 閉会

策定委員会開催日・出席者数

令和4年2月22日（火） 13:30～15:30

参加者数 15名（委員8名、事務局等7名）



主なご意見

【まちづくり方針・誘導方針について】

- 「安全」、「優しい」、「四季」などの日本の素晴らしいところは滝川も持っているのを活かしたまちづくりはどうか。
- 人口流出を防ぐために、起業しやすい場所、まちにしていけることが必要。
- 今後は技術的な発展が急速に進むと思われるため、遠隔医療や自動運転等、テクノロジーの観点も必要ではないか。
- 公共施設については、全て統廃合するのではなく、活用できる施設は活用するべき。
- 防災の観点から、滝川のどこでもネットワーク環境が整っているということが必要だと思う。

【中心市街地について】

- 「まちなかの魅力向上」と30年間言い続けてきたが全く変わっていない。
- まちなかのイメージを変えないといけない。駅前原っぱや芝生、公園などで良いのではないか。
- 中心市街地に商業施設が立地しても商売として成り立たないのが実情。民間企業は、12号線界限など交通の便が良いところに出店する。市は交通量の多いところに投資することが必要ではないか。
- JRやバスを多く利用している学生たちが、「滝川はいいよね」と感じられる駅前・駅周辺にしていけるべき。
- まずは中心市街地に人を住まわすことが先決ではないか。
- もはや中心市街地に何でもあるというイメージではないと思う。
- 駅前があつたままいいのか、というそうではないと思う。そこに何を置くことで人の流れをつくれるのかを考えないといけない。それが必ずしも商業施設ではないと思う。
- 駅前広場の再整備によって非常によくなったと思うが、駅前にある廃墟が芝生などに改善され、みんなが集まってくればお店やキッチンカーがはいってくるかもしれない。

【江部乙・東滝川におけるコミュニティ拠点について】

- 江部乙では、コンビニやクリニックがあり、宅配サービスなどを使いながら生活をしている。一方、東滝川では、コンビニはあるが、通院できる交通手段の維持・確保は必要。同じコミュニティ拠点でも、打ち手が変わってくる。

【居住誘導に関して】

- 人口が集積する市街地とそれ以外の地域では、行政コストに差があるため、今後の人口減少社会においては、行政サービスに格差がでてくるということを普通に言える環境が必要であり、示しても良いと思う。